



## 新型コロナウイルス感染症に対応した、 児童生徒の道徳性を育むためにできること

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をする中で、  
今までのように道徳科の授業を進めてもよいのか？ 今後はどうなるのか？  
どのような状況下においても、児童生徒の道徳性を育てるために、  
様々な場面を想定した準備をしておくことは大切です。

そこで、学校に登校できるかどうかの状況別による道徳科の実践例として、  
次の事例1～事例5の資料を作成しました！  
是非、参考にしてみてください。



広島県道徳教育キャラクター  
どうとくん

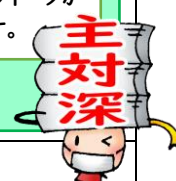
<p style="writing-mode: vertical-rl;">学校に登校できる場合</p>	<div data-bbox="212 779 802 1106" style="background-color: #FFD1E8; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>＜事例1＞</b></p> <p style="text-align: center;"><u>3密を意識した授業づくりとは？</u></p> <p>多面的・多角的に考えさせるには… 対話的な学びを止めないための工夫を紹介します。</p> </div> <div data-bbox="794 768 1050 936" style="background-color: #4F81BD; color: white; padding: 5px; border-radius: 15px; display: inline-block;">                 新型コロナウイルス 感染症対策です             </div> <div data-bbox="1066 792 1251 1025" style="text-align: center;">  <p>対策マーク</p> </div>	<p style="text-align: center;"><b>＜事例5＞</b></p> <p style="text-align: center;">日常的に学校と家庭をつなぐための取組ができないかな？</p> <p>道徳科で学んだことが児童生徒の日常生活にどのようなように生かされているのだろうか。 日常的に児童生徒が考えたり、感じたりしたことを記録するための取組の例を紹介します。</p>
	<div data-bbox="603 1070 1257 1397" style="background-color: #FFD966; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>＜事例2＞</b></p> <p style="text-align: center;"><u>分散登校と家庭学習をつなぐとは？</u></p> <p>家庭学習（個人思考）で考え、 学校（全体交流）でさらに深める！ そんな事例を紹介します。</p> </div> <div data-bbox="220 1352 818 1680" style="background-color: #ADD8E6; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>＜事例3＞</b></p> <p style="text-align: center;"><u>オンライン学習ってどうやる？</u></p> <p>オンラインで児童生徒とつながることができる状況下において、ICTを活用した事例を紹介します。</p> </div> <div data-bbox="347 1711 619 1868" style="background-color: #E91E63; color: white; padding: 5px; border-radius: 15px; display: inline-block;">                 主体的・対話的で 深い学びを促します             </div> <div data-bbox="212 1845 384 2024" style="text-align: center;">  <p>主体的・対話的で深い学びマーク</p> </div> <div data-bbox="627 1644 1257 1971" style="background-color: #ADD8E6; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>＜事例4＞</b></p> <p style="text-align: center;"><u>家庭学習のための授業動画とは？</u></p> <p>学校HPやYou Tube等にアップした授業動画で家庭学習ができるように動画作成のポイントを紹介します。</p> </div>	

学校に通常通り登校できる場合の3密を意識した授業づくり

道徳科において、多面的・多角的に考えさせることは大切です。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行ったうえで、3密を避けながら、友だちとの対話的な学びを止めないための工夫例を考えてみました！



	手立ての例	備考
授業前	<p>○教室の換気 ○配席の工夫 ○マスクの着用 ○手洗いやアルコール消毒 等</p>	<p>手洗いの6つのタイミング</p> <p>会話をするときにはマスクをつけましょう！ 5分間の会話は1回の咳と同じ</p>
授業中	<p>○発問の工夫 ○構造的な板書 ○ソーシャルディスタンスを保つ対話の工夫</p>	<p>・様々な教具を活用することで、通常時よりも対話そのものに時間がかかるかもしれません。発問を工夫、精選し、適切な場面で対話ができるように心がけましょう。 ・子供たちの多様な意見や、見えない心の中を可視化する板書の工夫により、黒板を見た子供たちの考えがさらに深まります。 ・距離を保ち、向かい合うことをできるだけ避けながらも、対話を取り入れる工夫をしましょう。</p>
低学年～中学年	<p>【系電話でペアトーク】 【フェイスシールドで役割演技】 【ハンドサインで意思表示】 【カラーサインで意思表示】</p>	<p>系を張らないと聞こえないため、楽しく距離を保つことができます。紙コップは、他者と使い回さず、記名して個人用にしましょう。</p> <p>お面代わりのフェイスシールドで、表情が見えるようにしましょう。</p> <p>賛成はチョッキ、反対はグーなどのハンドサインを決めておき、声を出さずに自分の立場や意思を伝えましょう。</p> <p>自分の選択や迷いなど、色の割合で表し、伝え合うことで、友だちの考えを視覚的に捉えることができます。(高学年や中学校でも使用)</p>
高学年～中学校	<p>【黒板のスケールで立ち位置を表す】 【「付箋LINE」のペアトーク】 【付箋によるグループトーク】 【オンラインでグループトーク】</p>	<p>黒板に0～100などのスケールを示し、「自分の考えはどこに配置されるか」を挙手で尋ね、ネームプレートを貼ることで、友だちの考えを視覚的に捉えることができます。</p> <p>一人一人に付箋の束、二人に1枚の用紙を渡しておきます。紙面を二分割し、各自のゾーンに上から付箋を貼っていきます。考えを付箋に書いたら用紙に貼って相手に渡すことを繰り返し、文字でやりとりをしましょう。授業後回収し、評価につなぐこともできます。</p> <p>グループに1枚の紙を渡し、その紙に考えを書いた付箋を貼って回すことで、文字によるグループトークができます。</p> <p>一人1台のタブレットが使用可能な環境があれば、オンラインでのグループトークが実施できます。</p>
授業後	<p>○使った教具の消毒 ○プリントなどの保管</p>	<p>・教具は、できるだけ消毒するとよいでしょう。 ・プリントなど、ウイルス付着が心配でも消毒が難しいものは、一定期間保管しておくことにより、ウイルス減少の効果が見込めます。</p>



教科書(紙媒体等)を家庭で扱った後、学校で考えを深める学習



どんな状況にも対応できるように、これからの学習の在り方として、学校と家庭学習をつなぐ学習方法を提案します。

例えば、家庭学習は、ワークシート等をもとに、自分の考えを整理する個人思考の時間にできます。事前に行うことで、児童生徒の実態把握にもつながります。そして、学校では、実態を生かし、課題意識をもたせながら、全体で深めていくことができます。

- ◇学 年 小学校第5学年
- ◇主 題 名 本当の自由とは (内容項目 A 善悪の判断, 自律, 自由と責任)
- ◇本時のねらい ジェラルールとガリユー, それぞれが考える「自由」を比べることを通して, 自由を大切にし, 規律ある行動をしようとする道徳的態度を育てる。
- ◇教 材 名 「うばわれた自由」(出典:「私たちの道徳 小学校五・六年」文部科学省)

授業者	流れ	児童
支援, 留意事項	流れ	学習活動
○ワークシートに学習内容を示し, 事前に配付しておく。 【予習】課題意識をもたせる。 ○教材を読む前に, ワークシートの質問1について自分の考えを書かせる。	事前①	○配付されたワークシート, 教科書(紙媒体等)を準備する。 日頃からこの家庭学習を, 道徳科の予習として習慣付けておくことで, 分散登校になっても対応できます。 ○ワークシートに沿って自分の考えを書きながら学習を進める。
○教材を読む前に, ワークシートの質問1について自分の考えを書かせる。	家庭学習 (個人思考)	対策 ・自分のやりたいことができる。 ・誰にも縛られない。等
<b>質問1 あなたが考える「自由」とは, どのようなものですか。</b>		
本時で考えたい道徳的価値についての実態を確認することで, 児童生徒の実態を踏まえた授業展開を構想することができます。 ○教材を読んで, ワークシートの質問2について自分の考えを簡単に書かせる。	主対深	・ジェラルールが, 「自由」に(勝手気ままに)ふるまって, ガリユーの「自由」がうばわれたこと。 →「自由」にも, 色々あると思ったから。等
<b>質問2 「うばわれた自由」を読んで, 一番心に残ったことを書きましょう。それは, なぜですか。</b>		
○課題意識をもたせる。	主対深	・ガリユーが言った「本当の自由を大切にする」とはどういうことだろう。
<b>質問3 「うばわれた自由」の話で, みんなで考えたいことは, 何ですか。</b>		
「みんなで考えたいこと」をあらかじめ考えさせておくことで, 道徳科授業への心構えや課題意識をもたせ, 主体的な学びへとつなげることができます。	主対深	○ワークシートを提出する。
○意図的指名を行うために, ワークシートを集め, 児童の考えを把握する。 ○把握した児童の実態から, 発問を精選する。	事前②	○ワークシートの回答を確認する。
○ワークシートを返却し, 児童が家庭で考えた「自由」について紹介する。 ○教材「うばわれた自由」を読む。 ○児童が書いた考え(ワークシートの質問2)を紹介し, 意図的指名により, みんなで考えたいこと(ワークシートの質問3)を整理する。	授業 (全体交流)	○みんなで考えたいことについて意見を述べる。
<b>「本当の自由」とは, どのようなことだろう。</b>		

○児童がワークシートに書いた考えを紹介し、それに対する発問を行う。

- ・ジェラルが考える「自由」と、ガリユが考える「自由」は、同じですか？どこが違うのですか？

〈補助発問〉

- ・「わがまま」と「自由」は、どう違うのでしょうか？
- ・あなたは「自由」に過ごしていますか？

「自由」…



○意見を出し合う。

- ・ジェラルが「自由」にしていたことは、自分のしたいことをすることで、他の人には、迷惑だった。「自由」ではなく、「わがまま」。
- ・ガリユは、わがまま勝手をするのは、「本当の自由」ではないと考えている。
- ・周りのことを考えて、判断して行動しなければ、周りの人の自由をうばう。

あなたが考える「自由」とは、どのようなものですか。

○自分が考える「自由」について、家庭学習で考えた「自由」と比較させながら、振り返らせる。

○振り返りを発表させ、一人一人の納得解をもたせる。

家庭学習で考えていた（個人思考の）「自由」と、授業で考えた対話後の「自由」を比較することで、自らの学びや成長に気付かせることができます



○家庭学習で考えた、自分のこれまでの生活の中の「自由」と比較させながら、振り返る。

○振り返りを発表し、新たな価値に気付く。

- ・臨時休業中は「自由」でいいと思ってゲームの時間が普段より長かったけれど、他の人の考えを聞いて、時間の使い方を判断して行動するという「自由」もあるのだと気付いた。

# オンラインによる学習







G-Suite の諸機能を活用することで、生徒達が登校できない場合も、道徳科の特質を生かした学習を行うことができます。

G-Suite 以外のアプリケーションでも、それらのもつ機能を上手く活用することで、効果的なオンラインによる学習を行うことが考えられます。何のために、どの場面で、どのような機能を活用しているかに着目して読んで、参考にしてみてください！

- ◇学 年 中学校第3学年
- ◇主 題 名 きまりを守る (内容項目 C 遵法精神, 公徳心)
- ◇本時のねらい 元さんのとった行動や元さんが初めて気づかされたことを考えることを通して、法やきまりの意義を理解し、秩序と規律のある社会を実現しようとする道徳的実践意欲と態度を育てる。
- ◇教 材 名 「二通の手紙」(出典:「私たちの道徳」文部科学省)

授業者	流れ	生徒
支援, 留意事項		学習活動
○掲示板に、授業の日程や事前課題を提示する。 <b>【事前課題】</b> ①交通ルールや学校でのきまりに関する写真を見て、周りに誰もいなくてルールやきまりを守らなくても迷惑がかからない場合や周りがルールやきまりを守っていない場合に自分だったらどうするかを考えさせる。 ②授業者が教材を音読する動画を視聴させる。	<b>事前</b>	○掲示板で、授業の日程と事前課題を確認する。 <b>【事前課題への取組】</b> ①写真を見た後、自分の考えをアンケートに回答する。 ②授業者が教材を音読した動画を視聴する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                         アンケート                          1 周りに誰もいなくてルールやきまりを守らなくても…                          ◎ ……                          2 理由                     </div>
○web 会議システムを活用し、全体で出席確認をする。 ○生徒の事前課題の回答をまとめて整理した表計算シートを提示し、課題を設定する。 <div style="text-align: center;"> </div>	<b>オンライン 授業</b>	○web 会議システムを活用し、オンライン授業に参加する。 ○提示された表計算シートを見ながら授業者の話を聞き、ねらいとする道徳的価値についての方向性をもつ。
<div style="border: 2px solid green; padding: 10px; display: inline-block;"> <b>法やきまりについて考えよう</b> </div>		
<div style="border: 2px solid orange; padding: 10px; display: inline-block;">                     導入において、アンケート機能や表計算機能を活用し、整理したものを提示することで、自分達の実態を共有するとともに、自分自身に関わることとして考えることで、法やきまりの本当の意味や意義への問いが生まれ、主体的な学びを促すことができます。                 </div>		
○教材の概要を確認して、問いを提示する。		○教材の概要を確認し、問いをもつ。
<div style="border: 2px solid pink; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>元さんは、どうして姉弟を入園させたのだろう。</b> </div>		
○意見を出し合う場面を設定する。		○挙手で合図して意見を述べる。
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>元さんが初めて気づかされたこととは、どのようなことだろう。</b> </div>		
○web 会議システムを活用し、グループで話し合う場面を設定する。		○web 会議システムのホワイトボード機能を使って、グループで話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりの大切さ</li> <li>・安全第一</li> </ul>

<p>○話し合いの後、全体に問い返す。  (例)・辞めないといけないほどのこと?  ・安全対策をすればきまりはゆるめていい?</p>		<p>○全体で話し合う。</p>
	<p>web 会議システムやホワイトボード機能を活用し、友達や授業者と話し合うことによって、自分とは違う考えに接し、多面的・多角的に考える対話的な学びを促します。</p>	
<p style="text-align: center;"><b>法やきまりは何のためにあるのだろう。</b></p>		
<p>○交通ルールや学校でのきまりを守り、笑顔で過ごしている多様な立場の人々を撮った写真を提示し、発言を促す。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが安心して過ごせるようにするため</li> <li>・関わる全ての人々の幸せを守るため</li> </ul>
<p>○アンケート機能を活用し、振り返りを回答するよう指示する。</p> 	<p>元さんの判断と心情を自分との関わりで多面的・多角的に考えてきたことを通して、法やきまりの意義についての深い学びを促します。</p>	
<p>○授業後に、身近な法やきまりを一つ取り上げ、その意義について考えたことをアンケートに書いて回答するよう伝える。</p>		<p>○アンケート機能を活用し、振り返りを回答する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりはみんなを思ってつくられていると実感した。</li> <li>・一人一人がきまりを守れば、結局自分もみんなも幸せになるから、前向きにとらえて守っていきたい。</li> </ul>
<p>○アンケート機能を活用し、回答を整理・記録して、フィードバックに活用したり授業を振り返ったりする。</p>	<p><b>事後</b></p>	<p>○アンケート機能を活用し、身近な法やきまりを一つ取り上げ、その意義について調べたことや考えたことを回答する。</p>

# 家庭学習のための動画作成について



授業動画の『良さ』って何だと思いますか？

児童生徒が、今後また、学校に行けない状況になったとしても、動画をとおして担任の先生の姿を見たり、声を聴いたりできることが、子供たちの安心と勇気につながります。

さらに、道徳科においては、授業動画をとおして、児童生徒に、様々な視点から考えるきっかけをあたえることで、家庭においても、よりよく生きるための基盤となる道徳性を育むことができます。

是非、チャレンジしてみてください！

## 【動画の構成(例)】



授業動画があれば学校に行けなくても学びを保証できるね



## 【作成のポイント】

**動画全体で 10 分程度**

子供たちが集中して見ることができるよう短いものがよいですよ！

構成	作成のポイント		
動機づけ	<b>【教材とのかかわり】</b> <p>「お昼ご飯はどうしてる？」などと投げかけ、自分の生活と教材をつなげていくことが考えられます。</p>	<b>【テーマ課題】</b> <p>「本当のやさしさとは？」などと投げかけ、主題と教材をつなげていくことが考えられます。</p>	<b>【アンケートを生かす】</b> <p>あらかじめとっておいた、児童生徒のアンケートを示し、今の自分たちの考えを基に、教材とつなげていくことが考えられます。</p>
教材との関わり	<b>【音読(絵や図、ペープサートの活用)】</b> <p>絵や図、ペープサートを活用することで、児童生徒は、場面をイメージしやすくなり、自分との関わりで捉えることができます(著作権にご留意ください)。</p> <p>「おめさんのおべんとう」</p> <p>たろうくん おめさん</p> <p>【中心発問】 たろうくんは、卵焼きがしょっぱかったことをお母さんに伝えるべきだと思いますか。それとも、伝えないほうが良いと思いますか。</p>		
自分の考えの整理	<b>【自分の考えを整理する時間を設定する】</b> <p>動画を止めて、自分の考えをノートに書く時間を設定することで、子供は考えを整理することができます。</p> <p>どうが 動画ストップ</p> <p>【主対深】</p> <p>「伝える」「伝えない」といった葛藤する場面を設定するなど、自分の考えをもたせやすくする工夫が大切です。</p>		
他者との関わり・発展	<b>【家族、友達、先生とのかかわりを促す】</b> <p>家で動画を見ているからこそ、「お家の人はどう思うかを聞いてみてください。」など促すことで、新たな発見や気づきをもたせることも考えられます。</p> <p>「お家の人と話したことを先生に教えてくださいね。」「『みんなと一緒に考えたいこと』に記録してくださいね。」などと伝えることで、学びをつなげることもできます。</p>		



動画作成のイメージがもてましたか？

作成のポイントは、県教委作成の「動画作成のススメ～子供たちに届けよう学び、守ろう心のつながり～」(小・中学校共有 道徳「おかあさんのおべんとう」)を参考にしています!!

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/dougasakuseinosusume.html>

学校と家庭をつなごう（児童生徒の日常生活を道徳科に）



日頃から学校と家庭（日常生活）をつなぐ取組をしておけば、学校に行けない時も学びを継続していくことができます。

児童生徒が、日々、考えていること、感じていること、体験したことなどを記録するものがあれば、それを道徳科の授業において活用することで、自身を振り返りながら、「主体的・対話的で深い学び」のある授業になるのではないのでしょうか。

【事前（日常生活）】

（例1）『わたしの心に響いたエピソード集（メモ帳）』※全学年対象

日常生活の中で、自分の心に響いたエピソードや言葉、出来事等を記録できるメモ帳のようなものを用意し、それぞれが日常的に記録していく。

例1

1. 日にち ○月○日(○)
2. 心に響いた出来事(言葉)
3. 考えたこと、感じたこと

（例2）『みんなと一緒に考えたいこと』※中学年以上対象

日常生活の中で体験した、うれしかったこと、素敵な瞬間、または、心の葛藤や悩み、不安等について、みんなと共有したい！一緒に考えたい！という出来事を記録していく。

この取組なら、  
新型コロナが拡大しても、  
続けることができるね！



【授業（学校・オンライン）】※道徳科の授業において活用する例

授業展開における段階		(例1)及び(例2)を活用する際の案
導入	道徳的価値への方向付けを図る段階	<p><b>(例2)の内容を、教師が実態把握や問題提示に活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「～のような体験をしたことはありますか？」</li> <li>・「～について悩んでいる友達に何と声をかけるべきだろう。」等</li> </ul>
展開	高められた道徳的価値に照らして、自分を振り返る段階	<p><b>(例1)の内容を、児童生徒が自身を振り返る資料として活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私も登場人物と同じで、～のような体験をしたことがあるけれど、その時、～という言葉で励まされたことがある。」等</li> </ul> <p><b>(例2)の内容を、児童生徒が「対話的な学び」の場面で活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私も～のような体験をしたことがあるけれど、みんなはどうですか？」等</li> </ul>
終末	道徳的価値に対する思いや考えをまとめたり、今後につなげようとしたりする段階	<p><b>(例1, 2)の内容を教師や児童生徒が振り返りの場面で活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私は、友達の○○という言葉でがんばることができたので、これからは、◇◇できるようになりたい。」【児童生徒】</li> <li>・「□□という言葉をみんなに伝えるね。」【教師】</li> </ul>



【事後（日常生活）】

日常生活の出来事等を記録するだけでなく、授業後、道徳科の学びを(例1)や(例2)に記録することもできる。

→ 児童生徒の日常生活における道徳性に係る実態を把握することや道徳科における学びの評価として参考になります。

児童生徒にとっては、  
学びを振り返り、もう一度  
自分を見つめ直すこと  
につながります。

